

**フランステニス連盟と日本テニス協会のジュニア育成に関する
事業連携プログラムの第一弾**
全仏オープン・ジュニア2016ワイルドカード選手権大会
in partnership with LONGINES 日本予選 初開催決定！
2016年3月9日からの3日間、味の素ナショナルトレーニングセンターで開催

フランステニス連盟は、2016年5月にフランス・パリで開催される「全仏オープン・ジュニア2016ワイルドカード選手権大会 in partnership with LONGINES」の本戦出場権をかけた、日本で初開催となる「全仏オープン・ジュニア2016ワイルドカード選手権大会 in partnership with LONGINES 日本予選」を、2016年3月9日(水)～11日(金)の3日間にわたり、味の素ナショナルトレーニングセンターにて実施いたします。

本戦は、ローラン・ギャロスのレッドクレイコートで戦うという、グランドスラムの魅力を体験する機会をより多くの若いテニスプレーヤーに提供することを目的に開催され、また、これまでに上海、ニューデリー、サンパウロなど各国で予選を開催してきました。本年はフランステニス連盟と日本テニス協会のジュニア育成に関する事業連携プログラムの第一弾として、味の素ナショナルトレーニングセンターを舞台に、日本でも予選の開催が実現する運びとなりました。日本予選の男子シングルスと女子シングルス優勝選手は、2016年5月にフランスのパリで開催される本戦に進出します。

本戦はローラン・ギャロスの拠点があるパリ近郊にて開催され、その決勝戦に勝利した選手は、ワイルドカードとしてローラン・ギャロスで開催される全仏オープン・ジュニア2016の出場権を獲得します。世界最高峰のレッドクレイコートを舞台に、世界の同世代のトッププレイヤーたちと対戦することで、今後の日本テニス界を牽引していくプレーヤーに成長することを期待しています。

※本資料は、日本体育協会東京運動記者クラブに配布しております。



【開催概要】

日本語正式名称：全仏オープン・ジュニア2016ワイルドカード選手権大会 in partnership with LONGINES 日本予選

英語正式名称：RENDEZ-VOUS À ROLAND-GARROS JAPAN IN PARTNERSHIP WITH LONGINES

(ランデブー ア ローラン・ギャロス ジャパン イン パートナーシップ ウィズ ロンジン)

日 程：2016年3月9日(水)～11日(金)

会 場：味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都北区西が丘3-15-1) ※一般非公開

出 場 選 手：日本テニス協会が選考した13歳から18歳までのプレーヤー 男女各8名

試 合 方 法：男女シングルス ベスト オブ スリータイブレークセット

主 催：フランステニス連盟

本件に関する
報道関係のお問合せ先

全仏オープン・ジュニア日本予選事務局(株式会社サニーサイドアップ内)
担当：網岡(080-4794-0672)、一瀬、内藤
TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 MAIL: frenchopen@ssu.co.jp

◆全仏オープン(ローラン・ギャロス)とは

毎年5月から6月にかけて開催される、テニスの4大国際大会(グランドスラム)の1つ。4大大会で唯一、クレイ(赤土=レンガの粉)コートを利用することでも知られており、他大会とは違った難易度を持つこの土は、故に現在まで幾多のドラマ的展開を生み出すことがあった。それらの逸話から「ローラン・ギャロスの赤土」は時に「赤い悪魔」などの名称で呼ばれることがある。名称のローラン・ギャロスは世界で初めて地中海横断飛行に成功した、フランスの英雄的パイロットの名前に由来している。

◆全仏オープン・ジュニアからスーパースターが誕生

プロテニスプレーヤーの最大の夢がグランドスラムであれば、全仏オープン・ジュニアは、将来のスターを育む場所といえる。プロテニスプレーヤーに憧れる少年少女にとって、全仏オープン・ジュニアへの出場は、いつの日か全仏オープンを獲得するための重要なステップとなる。

1978年には、全仏オープン・ジュニア男子シングルスでイワン・レンドルが優勝。その6年後、彼はグランドスラムのトロフィーを勝ち取り、さらにその後、グランドスラムのタイトルを7回も獲得した。今や伝説となったこのチェコスロバキア生まれのテニス選手のキャリアは、全仏オープン・ジュニアから始まった。

1939年には、「テニスのプリンセス」として知られたスイスの天才的テニスプレーヤー、マルチナ・ヒンギスが史上最年少の13歳で全仏オープン・ジュニアのタイトルを獲得。そのわずか4年後、彼女は全豪オープンのタイトルを獲得し、テニス史上最年少のワールドチャンピオンに輝く。

後に「クレイコートの女王」と呼ばれるになるベルギーの有名テニスプレーヤー、ジュスティヌ・エナンも、1997年に全仏オープン・ジュニア女子シングルスで優勝し、スター選手の道を歩み始めた。プロテニスプレーヤーとしてのキャリアの中で彼女は7度もグランドスラム・チャンピオンになったが、そのうち4回は全仏オープンであった。明らかに「ローラン・ギャロス」はエナンにとって幸運の地となった。

現役選手の中では、それぞれ2014年に全豪オープンと全米オープンで初のグランドスラム・タイトルを手にしたスタン・パブリンカとマリン・チリッチが、2003年と2005年に全仏オープン・ジュニアの男子シングルスで優勝。女子では、ポーランドのテニス界をリードするアグニエシュカ・ラドワンスカと1990年代生まれのルーマニアの可愛らしい有望新人シモナ・ハレプが全仏オープン・ジュニアで優勝している。

また、現在日本のテニス界を引っ張る錦織圭選手も2006年の全仏オープン・ジュニア男子ダブルス部門で、日本人初の4大大会ジュニア男子優勝という快挙を成し遂げている。

◆全仏オープン・ジュニア 2016 ワイルドカード選手権大会 in partnership with LONGINES 日本予選 出場予定選手

| | Last Name | First Name | Ranking* | 氏名 |
|---------------|------------|------------|----------|-------------------|
| Boys (男子) | 1 Shimizu | Yuta | 52 | 清水 悠太 (滋賀県) |
| | 2 Tajima | Naoki | 106 | 田島 尚輝 (東京都) |
| | 3 Chikami | Shohei | 111 | 千頭 昇平 (愛知県) |
| | 4 Sumizawa | Daisuke | 175 | 住澤 大輔 (神奈川県) |
| | 5 Kawakami | Rimpei | 203 | 川上 倫平 (神奈川県) |
| | 6 Trotter | James Kent | 211 | ジェームズ・トゥロター (兵庫県) |
| | 7 Ito | Takeaki | 1088 | 伊藤 竹秋 (埼玉県) |
| | 8 Ryoma | Matsushita | 1123 | 松下 龍馬 (埼玉県) |
| Girls (女子) | 1 Arakawa | Haruna | 89 | 荒川 晴菜 (千葉県) |
| | 2 Matsuda | Misaki | 193 | 松田 美咲 (埼玉県) |
| | 3 Nagata | Anri | 216 | 永田 杏里 (愛知県) |
| | 4 Sueno | Satoko | 258 | 末野 聡子 (兵庫県) |
| | 5 Hirata | Ayumi | 259 | 平田 歩 (岡山県) |
| | 6 Shimizu | Ayano | 305 | 清水 綾乃 (群馬県) |
| | 7 Sato | Himari | 431 | 佐藤 久真莉 (茨城県) |
| | 8 Ando | Yuki | 553 | 安藤 優希 (東京都) |

※ITF ジュニアランキング 2016年2月15日時点

※上記出場予定選手について、予告なく出場選手が変更になる場合がございます。

本件に関する
報道関係のお問合せ先

全仏オープン・ジュニア日本予選事務局(株式会社サニーサイドアップ内)
担当: 網岡(080-4794-0672)、一瀬、内藤
TEL: 03-6894-3200 FAX: 03-5413-3050 MAIL: frenchopen@ssu.co.jp